平成31年1月15日　雄　博　会　広　報　誌　第25巻1号　第1091号

あすなろ

新春号

「2025年問題」に向けての当院のこれからの役割と機能

特定医療法人 雄博会　理事長　千 住　雅 博

新年あけましておめでとうございます。本年もこれまで同様に、当雄博会をどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、ご存じの方もおられることと思いますが、「2025年問題」の到来まで残りわずか7年となりました。「2025年問題」とは、すでに平成27年にはベビーブームに生まれたいわゆる「団塊の世代」の方々約700万人が前期高齢者（65～74歳）に到達しており、さらに「2025年」になると後期高齢者になるという、これまで私たちが経験したことのない超高齢社会において生じて来るであろう多くの課題のことです。

わが国は、先進諸国の中で人口の高齢化が最も速い速度で進み、最も早く超高齢社会に到達したため、医療提供体制や財政負担のあり方など社会保障システム全般を模範にできる国は世界中にありません。従って、自ら解決策を探し求め望ましい制度や方法論を検討して行かなければなりません。

このような時代背景において、現在の、そしてこれから「2025年」に向けて佐世保・県北地域から必要とされる役割と機能を、当病院の病棟機能（入院医療）の観点から以下に紹介します。

当病院は平成26年6月1日付けで「在宅療養後方支援病院」となり、この名称のとおり、果たすべき役割と発揮すべき機能は、自宅・施設等の在宅において闘病されている患者様、あるいは利用者の方々が、急変されたり持病が急性増悪された際の、後方（バックベッド）として支援していくことが最大の使命と結論づけました。この方針を実現するために、二つの病棟を①緊急的な患者様の受け入れ、②高度急性期医療を脱した患者様の受け入れ、③リハビリの提供、④低栄養の改善、⑤在宅・生活復帰支援という役割と機能を有する「地域包括ケア病棟」に転換しました。二つ目として、当病院が有する「医療療養病棟」に期待される機能として、①継続的な医療処置の必要な長期療養の患者様の受け入れ、②リハビリの提供、③ターミナルケアを含めた緩和ケアの提供、④レスパイト機能を含む在宅支援、⑤認知症患者への対応があげられ、これらの機能を果たすことができるようスタッフ一同懸命に取り組んでいます。三つ目として、以前から有していた「介護療養病棟」を、平成30年4月1日に新たに創設された「介護医療院」に転換しました。この「介護医療院」は、要介護者であって、主として長期にわたり医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者を対象とし、医療機能と、日常生活上の世話を行う生活施設としての機能を兼ね備えた介護系施設です。四つ目として、平成20年4月から佐世保・県北地域で唯一の「緩和ケア病棟」を整備しています。

以上の経過において、当院のそれぞれの専門職がその専門性を生かし、院内のみならず院外においても、継続的なケア・サービス支援が重要となりました。これまでの病院完結型の医療スタイルから、当院は地域全体で治し支える医療スタイルの取り組みをさらに強化し、今後とも地域医療に貢献して参る所存です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

～千住病院 クリスマス会～

平成30年12月7日に
クリスマス会を開催しました！

職員による管楽器演奏他

峰町内のボランティアの
皆様による銭太鼓演奏

今年は田原様を中心とした峰町内のボランティアの皆様に、明るく楽しい銭太鼓を披露して頂きました。患者様も聞きなれた音楽で、目の色を輝かせ手拍子をされていました。アンコールの呼び声に合わせて演者、観客共に一体となった楽しいクリスマス会でした。絆の強さ、健康促進への取り組みが非常に素晴らしい地区であると感心しました。ご協力頂きました田原様、ボランティアの皆様ありがとうございました。

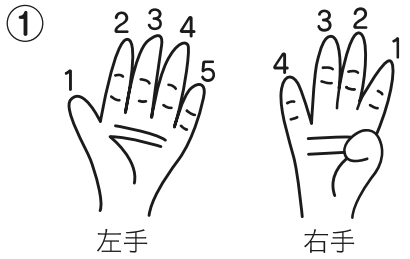
雄博会一同

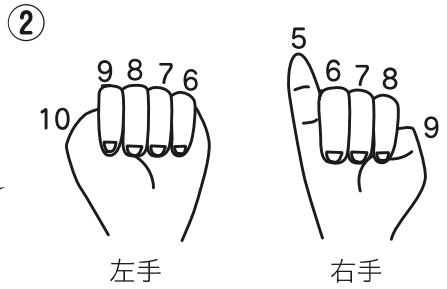
認知症予防の体操

この体操は拮抗体操（きっこうたいそう）といい、左右の異なる動きをすることで、
前頭葉の前頭前野（感情の起伏・左右の切り替えの感覚を司る脳の部分）の活性化を図ります。
簡単であっても、**左右の異なる動きに意識を向けること**が重要です。
一人で行うこともできますが、集団で行うと楽しみながら行えます。

1. 指をずらして指数え

①手のひらを見て、右手の親指を曲げておき、右手の他の指、左手の指は伸ばし、両手の親指側から指を数える。





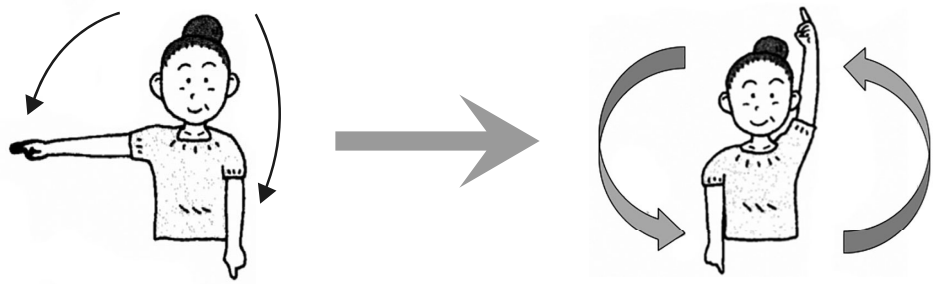
②親指側から数え終わると、小指側から指を伸ばす。

左右反対にしてやってみましょう!

2. 左右の手で異なる動作をする運動

左手は手を上げて⇒下げての2拍子
右手は手を上げて⇒横に上げて⇒下げての3拍子を同時に行う。

① 3拍子／横へ　2拍子／下へ　　② 3拍子／下へ　2拍子／上へ



左右反対にしてやってみましょう!

【文責】リハビリテーション科　作業療法士　内野保則
【参照】閉じこもり・認知症・うつ予防事業マニュアル（長崎県）
認知症予防プログラム（大分県）

◆◇◆◇ 高校生インターンシップ風景 ◇◆◇◆

清峰高校の4名の学生の方がインターンシップに見えられました!!

清峰高校1年　永石　凛

この4日間を通して1番に感じたことは、1人患者さんに多くの人が関わっているということです。

今までは主に医師と看護師さんで看護していると思っていました。でも理学療法士や臨床検査技士、薬剤師、放射線技士の方などがそれぞれ関わって“医療”が成り立っているんだなと思いました。私も人に尽くせる、人の役に立てる看護師になります。この4日間、初めてのことやなかなか体験できないことを多く学ぶことができました。私の中でとても貴重な4日間になりました。本当にありがとうございました。

清峰高校1年　池田　美咲

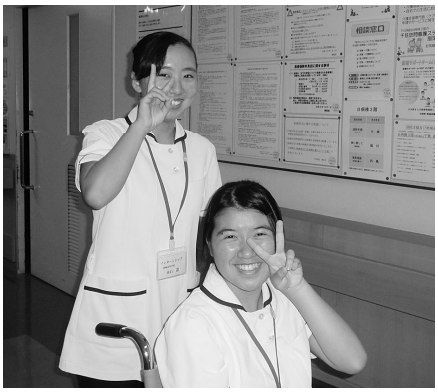
私は4日間で、看護師の大変さが分かりました。いろんな患者さんがいて、その人に合わせた対応をしないといけないのが難しいと思いました。どんな人とでもしっかりコミュニケーションをとれるように今からでも練習していかないといけないと思いました。大きな声で話しかけたり、車イスの時には、話しかけながら押したり、たくさん学ぶことができて本当にいい経験になりました。前よりも、看護師になりたいという気持ちが大きくなりました。これからもっと勉強を頑張ろうと思います。4日間ありがとうございました。

清峰高校1年　鹿ノ子　十萌

この4日間を通して、たくさんのことが学べたと思いました。私は将来、理学療法士になりたいと思っていましたが、看護師の仕事を間近で見てみると、とてもやりがいのある仕事だと思いました。仕事の内容だけではなくそれ以外の事もたくさん教えて頂き充実した4日間になりました。そして病院は医師と看護師だけではなく、たくさんの専門家の方々がいるから成り立っていることが分かりました。私も将来はその1人になりたいです。患者様もとても親切な方が多く、「頑張ってね」などと声をかけられたときはとても嬉しかったです。千住病院に実習に来れてよかったです。4日間本当にありがとうございました。

清峰高校1年　酒井　杏菜

この4日間で、私が1番考えさせられたのは、患者さんとのコミュニケーションの難しさでした。看護師は、患者さんとのコミュニケーションが大切になってくるので、もっとたくさんの人と関わりコミュニケーションを今のうちからやっておこうと思いました。そして、患者さんと看護師の距離の近さに強い印象を持ちました。1人1人、その患者さんに合った、ボリューム、対応と本当にいい経験をさせて頂きました。4日間本当にお世話になりました。



◆◇◆◇◆◇◆ 地域医療研修感想文 ◆◇◆◇◆◇◆

長崎大学病院研修医　**辻野　修平**

9月4日から4週間研修させていただきました。

これまでは長崎大学病院、佐世保総合医療センターと高度医療、急性期を中心とした施設で研修を行ってきました。そのなかで貴院に患者様をご紹介することあるいはご紹介をいただくことが度々ございました。本研修では患者さんが回復リハビリ期あるいは療養病床でどのような経過を辿り、どのように地域に帰るのかを中心に学ばせていただきました。

「私、失敗しないので」と飛び抜けた技術を持つ「名医」よりも、これからの日本では、患者さんが疾患を抱えることで直面するプロブレムに対し、治療法ではなく全人的な解決方法を提案できる「良医」が必要とされるのだと感じました。最後になりますが、私が研修するにあたり直接ご指導いただきました理事長をはじめとした先生方や病院スタッフの皆様方、さまざまな面でバックアップしてくださった事務職員の皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

◆◇◆◇◆◇◆◇ 薬学部実習生感想文 ◇◆◇◆◇◆◇◆

長崎国際大学薬学部5年　**原　麻子**

8月6日より10月19日までの11週間、こちらの病院で実習をさせていただきました。
一期目の調剤薬局での実習とは異なる、病院ならではの業務に初めのうちは戸惑いながら、毎日たくさんのことを学ばせていただきました。注射薬の取り合わせでは、様々なアンプル製剤やバイアル製剤、各種輸液の種類と特徴について学ぶことが出来ました。

内服薬の調剤では、特に経管栄養の患者さんへの投与で注意が必要な薬剤と、簡易懸濁法を行う上での工夫について詳しく学ぶことが出来ました。また、内服薬のセット作業を通して薬の管理に薬剤師が介入することの必要性を理解することが出来ました。

緩和ケア病棟の新患カンファレンス、NST回診、褥瘡回診などに同行させていただき、チーム医療の中での薬剤師の役割について実感し、改めて専門的知識とコミュニケーション能力の必要性を感じました。

最後になりましたが、理事長先生、薬局の先生方、病院スタッフの皆様、日々の業務でお忙しい中、11週間優しく熱心にご指導いただき本当にありがとうございました。この実習で学ばせていただいた多くのことを、将来、薬剤師として働く際に活かしたいと思います。

◆◇◆◇◆◇◆◇ 薬学部実習生感想文 ◇◆◇◆◇◆◇◆

長崎国際大学薬学部5年生　**小松原　和彦**

8月6日からの11週間の実習を終えることが出来ました。この2ヶ月を通して一番思うことはこの千住病院を含め、病院での実習は薬局での実習とあらゆる点で異なり、全く新しい体験ができるということです。薬局実習ではその薬局の近くの医療機関からの処方箋が多く持ち込まれ、その医療機関特有の、そして特化した薬剤を扱い、その診療科の処方する薬剤のスペシャリストになれるというメリットがあります。

一方、こちらの千住病院では、内科単科ではあるものの、循環器・呼吸器・糖尿病等様々な処方箋が薬剤科に持ち込まれ総合的な知識を必要とし、修得できます。また、緩和病棟があることにより癌疼痛治療に用いられる麻薬性鎮痛薬の知識も得られ、抗悪性腫瘍薬の取り扱い見学も近隣の総合病院と提携し実施されます。他にも先輩薬剤師の方々が褥そう対策チーム・栄養サポートチーム（NST）・新患カンファレンス・朝の病棟での申し送り・病棟での薬剤チェックに同行させてくれたり、2週間に1度の院内勉強会にも医師の方々との出席を許可されたり、学校薬剤師として“薬物乱用”の講義に近隣の学校への啓蒙活動に参加させてもらえたり、まさに病院ならではの実習が体験できます。

そして、時に優しく、時に厳しい先輩薬剤師の方々や病院スタッフの方々に支えられ、実習が終わる頃には必ず一回り成長できます。そして何より、四国出身のわたくしにはこの“佐世保市”の良さ、よく分かりました。

◆◇◆ ホームページがリニューアルしました！ ◆◇◆

2018年8月に、千住病院のホームページをパソコン・タブレット・スマートフォンから見やすいデザインにリニューアルしました。ぜひ、ご覧ください。**URL：http://1010hosp.or.jp/**

スマートフォンから閲覧すると、直接電話ができるようなボタンも設置しています。

◉入院窓口

地域医療連携室

0956-24-1010

受付時間　月～金曜 8:30～17:30 土曜 8:30～12:30

糖尿病教室のお知らせ

日　時：平成31年3月2日（土）　午後1時30分から
場　所：千住病院A病棟2階多目的室
内　容：糖尿病の治療について
　　筋力アップで基礎代謝量アップ
　　1年間のまとめ・糖尿病クイズQ&A

糖尿病は患者様自身の積極的な取り組みが必要な生活習慣病です。
患者様、ご家族の皆様のほか、興味がある方ならどなたでも歓迎です。
継続的な参加をお勧めします。

千住診療所 外来担当医師のご案内

診察時間／曜日	午　前 9:00～12:30 （受付8:30～12:15）	午　後 13:30～16:00 （受付13:30～16:00）
月	荒木・福田	荒木・谷岡
火	荒木・東	岡・金沢
水	荒木・谷岡	荒木
木	荒木・千住	福田★・木下
金	荒木・佐藤・卜部	荒木・籠手田
土	荒木・田中☆	

☆【午前】11:15受付終了
★神経内科診察は15:30受付終了

お知らせ

診療所閉院のお知らせ

平成31年3月31日をもって千住診療所を閉院することになりました。
※診察終了日は**3月23日（土）**となります。

4月1日からは宮地町・千住病院での診断・健康診断・人間ドックを行います。
なお、救急時の対応は千住病院で行います。
今後とも、宜しくお願い致します。

《問合せ先》
特定医療法人雄博会　千住診療所
TEL 0956(23)1010

千住病院に
移転しました！

訪問看護・居宅介護支援のご案内

訪問看護では24時間の緊急連絡にも対応し、終末期の在宅ケアに力を注いでいます。また、作業療法士も1名常勤しており訪問リハビリを実施しております。
ケアマネージャーが4名おり、介護保険全般に関すること等、ご家族も含めて相談に応じています。お気軽にご相談にお越し下さい。

編　集　後　記

新しい年が明けました、今年は平成が後4ヶ月で終わり5月より新しい元号になります。TVでは新しい元号の発表がいつになるか言われていますが、皆さんは新しい元号が何になるか楽しみにされている事でしょう。当院も4月より外来診療が新しくなります。今年1年いろいろと新しくなりますが、広報誌「あすなろ」をよろしくお願いします。

臨床検査科　前田

■ 地域包括ケア病棟のお知らせ

地域包括ケア病棟とは、

①急性期医療を終了した後の患者様が在宅や施設へ退院するための医療管理・リハビリ・看護などを行う病棟

②在宅療養中の患者様に入院が必要になった時、在宅医からの依頼を受けて入院をお受けする病棟です。

また、在宅復帰支援計画に基づき医療チーム（医師・看護師・リハビリ担当者・MSW等）が退院へ向けての支援を行います。

当病棟での入院期間は基本60日が限度ですが、状態により調整いたします。

ご入院のご希望は地域医療連携室まで、お問い合わせをお願い致します。

■ 介護医療院とは？

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることが出来るよう、医療・介護・予防・住まい、生活支援が確保される体制のなかでつくられました。

長期的な医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者を対象に「生活施設」としての機能、「日常的な医学管理」や「看取りやターミナルケア」などの医療機能を兼ね備えた施設です。

2018年4月1日に開設され、2フロア合計75床あり、リハビリやお誕生会、ボランティアの方との交流会などレクレーションも開催しています。医師・看護師・介護職員、歯科医・歯科衛生士、管理栄養士、リハビリ訓練士、相談員などと連携しご利用者様とそのご家族様への支援を行っています。

雄　博　会　理　念

◎ 理　念

最新の医療とこころ温まる看護・介護を安全に提供できるよう絶えず努力します。

◎ 基本方針

（1）患者様の人権を尊重し、誠意と責任をもって、患者様とご家族の立場に立った最善の医療・看護・介護を提供します。

（2）医療連携を推進し、地域に信頼され、地域に貢献できる医療機関であることに努めます。

（3）研修・教育を通して常に向上心を培い、質の高い最新の医療が実践できるように絶えず努力します。

（4）チーム医療をもって社会復帰や在宅を支援すると同時に、地域の健康増進のための医療サービスを提供します。

（5）患者様の心身の痛みに対し、最善の緩和医療を提供し、患者様とご家族を支援します。

◎ 患者様の権利

（1）患者様は、適切で質の良い医療を受ける権利を有します。

（2）患者様は、ご自分の医療の内容について知る権利とわかりやすい言葉で説明を受ける権利を有します。

（3）患者様は、人格を尊重されプライバシーを保護される権利を有します。

（4）患者様は、ご自分の医療の内容について自由に選択し決定する権利を有します。

（5）患者様は、ご自分の医療にかかる情報を入手できる権利を有します。

（6）患者様は、ご自分の受ける医療について他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利を有します。

救急告示病院
日本医療機能評価認定病院
特定医療法人 雄博会
千住病院

□病　院　□介護医療院
〒857-0026　佐世保市宮地町 5−5
TEL 0956-24-1010　FAX 0956-24-8590
http://www.1010hosp.or.jp

□訪問看護ステーション　□指定居宅介護支援事業所
〒857-0026　佐世保市宮地町 5−5
TEL 0956-23-9273　FAX 0956-23-9274

□診療所
〒857-0054　佐世保市栄町 5−26
TEL 0956-23-1010　FAX 0956-25-6110

【広報委員会】
《委 員 長》村井　春樹
《副委員長》前田　康幸
《委　　員》千住　雅博・遠藤　洋子・金石明日香・金沢　淑子
池上　智子・内野　保則・尾崎由加利・原　大
《印　　刷》（有）プリメックス